野田市の特別養護老人ホーム

空きがあるのに何故入れないの??

介護保険は3年ごとに改定されそのたびに様々な影響が出ています。市民ネットワーク千葉県では昨年来、その影響について県内117の特別養護老人ホームにアンケートを送らせていただき、改定後の影響や利用者の方のご意見を伺いました。回答から見えてくる現場の声は、介護保険の問題点を浮き彫りにしていました。

小室　平成27年度より特養の入所基準が原則要介護3以上となりました。特養待機者の推移の背景についてお聞きします。

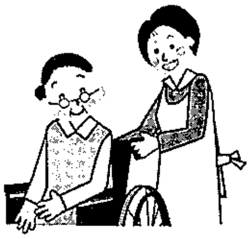
市長　各年度2回の調査により実人数の待機者数を把握しています。平成27年度の改定でそれまで要介護1と2の方が195人だったのが53人に減り、要介護3以上の方が542人から282人に減少しました。

市議
小室 みえこ

小室　特別養護老人ホームの入居率とショートステイの利用率の経年比較を表に示しました。この経年の数字からどのような背景があるのかお聞きします。

市長　ショートステイ専用の施設が古いなどの理由で利用が減少した施設もあるようです。また、特養ではなく、老人保健施設や在宅でのサービスを利用し自宅での介護になるケースなどがあります。また、今年4月にはショートステイから3床を特養に転換するなどの相談を受けて対応した施設もあります。

小室　利用率や特養の入居率の数字からは、特養待機者が居るのに高い入居率ではないと考えます。要介護3以上の対象は原則そのままの対象であるにもかかわらず、542人から282人と約半減した理由は、どう説明がつくのか具体性のない答弁です。第7期の事業計画においても様々な改定が盛り込まれるようですので、利用者や施設側の声を聞いて頂き、第7期の改定に臨んで下さい。



平成24年〜28年における特養入所待機者数

※平成27年4月1日以降　入所基準が要介護3以上に改定

平成24年	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年
7月1日	1月1日	7月1日	1月1日	7月1日	1月1日	7月1日	1月1日	7月1日	1月1日
707人	711人	728人	749人	737人	737人	318人	356人	308人	335人

平成24年〜28年のショートスティの利用率・施設入居率

区　　分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	合　計
ショートスティ利用率 (少数点第3位以下切り捨て)	78.50%	82.98%	63.77%	39.98%	60.52%	60.23%
特養入居率 (少数点第3位以下切り捨て)	59.26%	86.95%	77.28%	62.32%	61.45%	69.06%

小室みえこのコメント

新規の施設は第5期シルバープランによって計画されました。その当時は特養待機者数を減らし、入所を待つ声に応えたいという姿勢だったと思います。しかし、その当時の待機者数と入居率を見ても合点が行かず多くの待機者がいながら、入居率が高くない実情が調査から見えてきました。計画通りにはいかないものだと楽観している場合ではありません。今年4月には船形地区に90床の新設特養、来年4月には愛宕駅東地区に70床の新設特養が開設されます。入所を希望される方が入所できるよう、また施設が安定的に運営できるよう、介護従事者が安心して働け、職員が不足しているから受け入れが出来ないとならないよう、どんな対策が求められるのか？しっかり検証しておかないと介護保険利用者、施設運営者、介護従事者、行政にとって負の連鎖が透けて見えます。